



IELTSテスト対策講座

この講座では Listening, Reading, Speaking, Writing の4つのスキルをバランスよく伸ばすことを重視しています。自学での学習が難しいSpeaking, Writingを集中して学習するコースも用意しています。

★この講座は、有限会社ビート米会話の講師が担当します。

総合コース

IELTSテストで課せられる4つのセクション(Listening・Reading・Speaking・Writing)についてトータルに対策を行うコースです。IELTSテストの受験を目指す方は、このコースを受講してください。

IELTSテストでは、4つの技能のスキルをバランスよく効率的に伸ばしていくことが重要です。この講座では、語彙力や文法の知識・正確さといった英語の基礎力を固め、各セクションの出題内容や特徴、解答にあたっての時間配分など、IELTSテスト特有のポイントを押さえながら、演習を交えた実践的なトレーニングを行います。Speaking・Writingセクションでは、ネイティブ講師から、発音・イントネーション・英語による表現力・構成力を学びます。

※この講座では、IELTSテスト対策講座を受講したことがある方、自学での対策が難しいとされるSpeaking・Writingセクションについて勉強したいという方のために、次の2つのコースを用意しています。 ※コース単体で受講することができます。

Speakingコース

このコースは、総合コースのSpeakingセクションの授業のみを受講するコースです。Speakingセクションの評価基準となる流暢さと話の一貫性、語彙力、文法の正確さ、発音について集中的に学びます。 *「総合コース」と重複して申し込む必要はありません。

Writing添削コース

このコースは、IELTSテストのWritingセクションで出題される分野のテーマに対してエッセイを作成し、ネイティブ講師による添削指導(5回)を受ける通信添削コースです。

*「総合コース」とセットで受講すると効果的です。「総合コース」でもWritingの授業はありますが、添削指導は行いません。

★IELTSテスト対策講座では、受講生を対象としたプレイスメントテスト・アチーブメントテストの実施はありません。



この講座では、受講終了後に公式テスト:IELTSテストの受験を推奨しており、これをアチーブメントテストとして位置づけ、公式テストの受験料の一部を補助します。

詳細は、本要項の14ページの「CLAの検定料補助制度」をご覧ください。

Writing添削コースのスケジュール

	申込期間	回数	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	募集人数
春semester講座	4/8(月)~4/19(金)	課題提示日時	4/29(月) 10:30	5/13(月) 10:30	5/27(月) 10:30	6/10(月) 10:30	6/24(月) 10:30	30
		解答提出期間	5/6(月)~8(水) 正午	5/20(月)~22(水) 正午	6/3(月)~5(水) 正午	6/17(月)~19(水) 正午	7/1(月)~3(水) 正午	
		添削結果返却日	5/15(水)	5/29(水)	6/12(水)	6/26(水)	7/10(水)	
夏期集中講座	7/1(月)~8/4(日)	回数	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	募集人数
		課題提示日時	8/9(金) 10:30	8/16(金) 10:30	8/23(金) 10:30	8/30(金) 10:30	9/6(金) 10:30	
		解答提出期間	8/16(金)~18(日) 正午	8/23(金)~25(日) 正午	8/30(金)~9/1(日) 正午	9/6(金)~9/8(日) 正午	9/13(金)~15(日) 正午	
秋semester講座	9/17(火)~10/1(火)	回数	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	募集人数
		課題提示日時	10/7(月) 10:30	10/21(月) 10:30	11/4(月) 10:30	11/18(月) 10:30	12/2(月) 10:30	
		解答提出期間	10/14(月)~16(水) 正午	10/28(月)~30(水) 正午	11/11(月)~13(水) 正午	11/25(月)~27(水) 正午	12/9(月)~11(水) 正午	
春期集中講座	12/9(月)~1/17(金)	回数	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	募集人数
		課題提示日時	1/24(金) 10:30	1/31(金) 10:30	2/7(金) 10:30	2/14(金) 10:30	2/21(金) 10:30	
		解答提出期間	1/31(金)~2/2(日) 正午	2/7(金)~9(日) 正午	2/14(金)~16(日) 正午	2/21(金)~23(日) 正午	2/28(金)~3/2(日) 正午	
		添削結果返却日	2/7(金)	2/14(金)	2/21(金)	2/28(金)	3/7(金)	

Writing添削コースでは、「課題提示日」の午前10:30に、各回の課題を、manaba+Rのコースツールにて掲載します。また解答は、各回で定められた提出期間に、manaba+Rから提出してください。

*Writing添削コースではテキストは使用しません。

*解答提出期間については、最終日の正午を提出〆切としますので、ご注意ください。

*数回をまとめて提出することはできません。また解答提出期間を過ぎて提出されても添削されません。

受講料

【コース名】	総合コース	Speakingコース	Writing添削コース
【受講料】	45,000円	13,000円	6,000円

*受講料は税込価格です。

◆各コース1クラス開講です。**クラス定員は 20名**です。

※総合コース・Speakingコースについては、**両コース合計で20名**を上限とします。各コースの受講申込者が定員を下回ったときは、未補充分を他のコースに振り替えて申し込みを受け付けます。

◆受講申込は「**先着順**」で受け付けます。申込者数が定員を超過した場合は、「**キャンセル待ち**」となります。

◆各コースの最少催行人数は、**総合コース・Speakingコースの合計で15名**です。受講申込者数がこれを下回った場合は「**閉講**」とします。

◆休講となる場合は、講座日程を繰り下げて、予備日を利用して授業を行います。また諸事情により講座日程の変更や担当講師の変更が生じる場合があります。その場合は、事前に受講生の皆さんにお知らせします。

春セメスター講座

総合コース

申込期間	4/8(月)~4/19(金)
開講発表	4/22(月) 17:00
コマ数	開講日
1・2	5/7(火)
3・4	5/9(木)
5・6	5/14(火)
7・8	5/16(木)
9・10	5/21(火)
11・12	5/23(木)
13・14	5/28(火)
15・16	5/30(木)
17・18	6/4(火)
19・20	6/6(木)
21・22	6/11(火)
23・24	6/13(木)
25・26	6/18(火)
27・28	6/20(木)
29・30	6/25(火)
予備日	6/27(木)

Speakingコース

申込期間	4/8(月)~4/19(金)
開講発表	4/22(月) 17:00
コマ数	開講日
1・2	5/9(木)
3・4	5/16(木)
5・6	5/23(木)
7・8	5/30(木)

●授業は 1 回 90 分、1 日 2 コマ実施
①18:00~19:30 ②19:40~21:10

秋セメスター講座

総合コース

申込期間	9/17(火)~10/10(木)
開講発表	10/15(火) 17:00
コマ数	開講日
1・2	10/22(火)
3・4	10/24(木)
5・6	10/29(火)
7・8	10/31(木)
9・10	11/5(火)
11・12	11/7(木)
13・14	11/12(火)
15・16	11/14(木)
17・18	11/19(火)
19・20	11/21(木)
21・22	11/26(火)
23・24	11/28(木)
25・26	12/3(火)
27・28	12/5(木)
29・30	12/10(火)
予備日	12/12(木)

Speakingコース

申込期間	9/17(火)~10/10(木)
開講発表	10/15(火) 17:00
コマ数	開講日
1・2	10/24(木)
3・4	10/31(木)
5・6	11/7(木)
7・8	11/14(木)

●授業は 1 回 90 分、1 日 2 コマ実施
①18:00~19:30 ②19:40~21:10

夏期集中講座

総合コース

申込期間	7/1(月)~8/23(金)
開講発表	8/26(月) 17:00
コマ数	開講日
1・2・3	9/2(月)
4・5・6	9/3(火)
7・8・9	9/4(水)
10・11・12	9/5(木)
13・14・15	9/6(金)
16・17・18	9/9(月)
19・20・21	9/10(火)
22・23・24	9/11(水)
25・26・27	9/12(木)
28・29・30	9/13(金)
予備日	9/14(土)

Speakingコース

申込期間	7/1(月)~8/23(金)
開講発表	8/26(月) 17:00
コマ数	開講日
1・2 (*1)	9/5(木)
3・4 (*1)	9/6(金)
5・6 (*1)	9/9(月)
7・8 (*1)	9/10(火)

●授業は 1 回 90 分、1 日 3 コマ実施
① 9:30~11:00 ②11:10~12:40
③13:40~15:10

【 Speakingコース 】
(*1) 授業は、上記の①②の時間で実施

春期集中講座

総合コース

申込期間	12/9(月)~1/17(金)
開講発表	1/20(月) 17:00
コマ数	開講日
1・2・3	2/3(月)
4・5・6	2/4(火)
7・8・9	2/5(水)
10・11・12	2/6(木)
13・14・15	2/7(金)
16・17・18	2/8(土)
19・20・21	2/10(月)
22・23・24	2/12(水)
25・26・27	2/13(木)
28・29・30	2/14(金)
予備日	2/15(土)

Speakingコース

申込期間	12/9(月)~1/17(金)
開講発表	1/20(月) 17:00
コマ数	開講日
1・2 (*1)	2/6(木)
3・4 (*1)	2/7(金)
5・6 (*1)	2/8(土)
7・8 (*1)	2/10(月)

●授業は 1 回 90 分、1 日 3 コマ実施
① 9:30~11:00 ②11:10~12:40
③13:40~15:10

【 Speakingコース 】
(*1) 授業は、上記の①②の時間で実施

■ 受講申込方法 ★必ずよく読んで手続きを行ってください。

CLA講座の受講対象は、立命館大学の在学生のみです。



Step1 Web申込

- 立命館大学言語習得センターのホームページにアクセスしてください
<https://www.ritsumeai.ac.jp/gengo/cla/> *右のQRからもアクセス可
- Web画面の「**受講申込はこちら**」をクリック、申込手順を確認して画面下「**受講申込画面へ**」からWeb入力フォームに進み、必要事項を入力してください。
*Web申込の際は学内RAINBOWメールアドレスを登録してください。
*TOEIC®L&Rテスト対策講座を申し込まれる方は、Web申込時に登録する住所に全コース共通テキストが送付されますので、テキストの受け取り可能な住所を正確に入力してください。
- 入力後「**確認画面**」に進み、内容を確認して「**送信**」ボタンをクリックして受講料の支払画面に進んでください。

受講料の支払いは、クレジット決済・コンビニ決済のどちらかを選択してください。

Step2 受講料の 支払い



● クレジット決済

画面の指示にしたがって必要事項を入力してください。入力手続きが終了した時点で受講料の支払いが完了します。

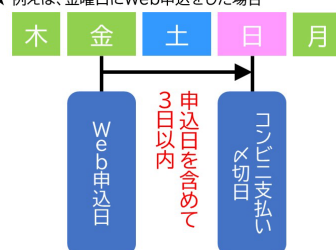


● コンビニ決済

画面の指示にしたがって必要事項を入力してください。入力完了後に支払いの案内メールが届きますので、選択したコンビニエンスストアで支払いをお願いします。

*コンビニ決済での支払いは、**Web申込日を含めて3日以内**に行ってください。
3日を過ぎると自動的にキャンセルとなります。自動キャンセル後に受講を希望する場合は最初からWeb申込を行ってください。

★例えば、金曜日にWeb申込をした場合



受講申込 完了

受講料支払い終了後、CLA事務局で申込内容・入金を確認します。
確認後に「**受講案内(シラバス)**」をWeb申込時の登録メールアドレス宛に送信しますので、必ず内容を確認のうえ受講に備えてください。



受講申込にあたっての注意事項

- 受講申込は「先着順」で受け付けます。同一講座の同一コースを重複して申し込むことはできません。
- Web申込が終了すると、申込時の登録メールアドレス宛に「**受講申込確認メール**」が配信されます。このメール受信を必ず確認し、受講開始まで必ず保管しておいてください。
- コンビニ決済を選択した方には、「受講申込確認メール」とは別に、**コンビニ決済に関する案内メール**が届きますので、その案内にしたがって、**Web申込日を含めて3日以内**に支払いを行ってください。
- 受講定員を上回った時は「キャンセル待ち」となり、キャンセルが発生した場合に、順次繰り上げて「**空席案内メール**」を配信します。こまめにメールをチェックし、メール受信後は速やかに受講料の支払いを行ってください。
- 申し込んだ講座受講をキャンセルする場合は、「受講申込確認メール」の本文下にキャンセルフォームのURLが表示されていますので、そのURLにアクセスしてキャンセルしてください。



ATTENTION

CLA講座は最少催行人数を下回った場合に「**閉講**」となることがあります。受講人数が最少催行人数を上回り「**開講**」が決定した場合は、CLAのホームページ内・各講座のページにある「講座スケジュール」に「**開講決定**」と表示します。必ずこのページで「**開講決定**」を確認して、テキストを購入してください。

(表示例)



【CLA講座のキャンセルポリシー】 *必ずお読みください！

受講申込者が受講料の支払いを完了し、「受講案内」を受領した時点をもって「受講申込完了(契約締結)」となります。受講申込者が受講をキャンセルする場合の受講料の取り扱いについては、下記の通りとします。

- ① 受講開始日の前日までに受講キャンセルの申し出があった場合(*)は、受講料を全額返還します。
- ② 受講開始日の当日以降に受講キャンセルの申し出があった場合(*)は、受講料は返還しません。
- ③ 大学側の都合により講座が開講中止となった場合、または受講を辞退していただく場合は、受講料を全額返還します。
- ④ 大学側の責に帰す事由(募集要項の記載ミス、明らかな説明・手続きミス等)により受講生が受講できなくなった場合は、未実施分の受講料を返還します。この場合の返還金額の算出方法は、受講料を総コマ数で按分して1コマ単価に未受講分コマ数を乗じた金額とします(1円未満は切り捨て)。
- ⑤ プレイスメントテストを受験した後に受講をキャンセルした場合は、所定のプレイスメントテスト受験料をお支払いいただきます。

(*) 受講キャンセルの申し出は、来室・電話・メールのいずれかの方法でご連絡ください。なお来室・電話でのお申し出の場合は、言語習得センターの窓口時間内での受付となります。

(*) IELTSテスト対策講座のWriting添削コースについては、第1回目の課題提示日時を授業開始時間とします。

※言語習得センターの窓口時間・連絡先については、本募集要項裏表紙に記載しています。

CLAの 検定料補助制度



CLA講座のTOEFL®テスト対策講座・IELTSテスト対策講座では、アチーブメントテストとして、講座終了後に公式テストの受験を推奨し、下記の通り検定料の一部を補助します。ぜひこの機会を活用して、検定試験にチャレンジしてください。

対象となる講座と検定試験

- TOEFL®テスト対策講座
「**Listening&Readingコース**」に加えて、「**Speakingコース**」・「**Writingコース**」の両方もしくはいずれかのコースの受講生は、**TOEFL iBT®テスト(公式テスト)**を補助対象とします。
- IELTSテスト対策講座
「**総合コース**」の受講生は、**IELTSテスト(公式テスト)**を補助対象とします。

補助額

10,000円

*補助金はテスト受験後の申請に基づき指定口座への振込とします。

申請方法

- ◆ 応募条件 次の3つの条件をすべて満たしていることが申請要件となります。
 - ①立命館大学の在学(学部生・大学院生)の正規生であること。
 - ②上記の補助対象講座の2024年度受講生であること。
 - ③対象講座の総コマ数に対して80%以上の出席率であること。
- ◆ その他要件
 - ・検定料の補助申請は、1回の講座受講につき1回限りとします。
 - ・講座終了日以降、講座終了日の翌々月末までに受験した検定試験が対象となります。
 - * 春期集中講座の補助対象となる検定試験は、2025年3月16日(日)の受験分までとなります。
 - * 2024年度講座受講生の申請受付は、2025年3月21日(金)まで(必着)とします。
- ◆ 申請方法 下記の書類を揃えて受験日から30日以内に、言語習得センター(CLA)窓口申請者本人が提出してください。
 - ①申請書「2024年度CLA講座 検定料補助申請書」(*) 1通
 - ②検定料納付書(領収書)のコピー、その他支払いを証明するもの 1通
 - ③検定試験のスコアレポート(成績証明書)のコピー 1通

(*) 申請書は言語習得センター(CLA)のホームページからダウンロードできます。CLA窓口でも配布します。

※スコアレポート(成績証明書)の発行が申請期日までに間に合わない場合は、上記提出書類の①②のみを提出し、③のスコアレポートのコピーは、手元に届き次第追加で提出してください。

※申請書提出の際は、本人確認のため必ず学生証の提示をお願いします。

※補助金の振り込先口座は、申請者本人名義のものに限りです。

〔郵送での提出〕 申請書を郵送で提出する場合は、下記宛に送付してください。郵送の場合は、提出期日までに必着とします。

※上記提出書類①②③に加え、**学生証のコピーも必ず同封してください。**

【送付先】 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学 全学教育課 CLA検定料補助担当 宛

FAQ



CLA講座に関するよくある質問

- Q. TOEIC®テストとTOEFL®テストの違いは何ですか？
A. どちらも英語能力を測定するテストですが、TOEIC®テストは主にビジネス上で求められる英語能力で、会議やメールなどビジネスシーンで使われる英語が多く出題されます。一方、TOEFL®テストは主に海外留学に必要な英語力をはかるテストで、社会科学や人文科学などのアカデミックな問題が多く出題されます。
- Q. IELTSとTOEFL®テストのどちらを受験するか迷っています。
A. 将来留学を目指しているのであれば、留学先で必要とされるテストを選択してください。どちらも有効な場合は、出題内容や受験方式など各テストによって特徴が異なりますので、問題集やホームページで公開されているサンプルテストを解いてみて、自分が取り組みやすいと思えるテストを選ぶとよいでしょう。
- Q. プレイメントテストは必ず受験しなくてはならないのですか？
A. TOEIC®L&Rテスト対策講座では受講するコース選択時にスコアが必要となりますので必ず受験してください。また、プレイメントテスト・アチーブメントテストの各テストは、講座での学習成果を確認するテストです。無料で受験できる機会ですので、ぜひ受験してください。
- Q. 自分の英語力に自信がなく、レベル分けの無いクラスで授業についていけないのか不安です。
A. ある程度の努力は必要ですが、講師の先生方は受講生一人一人の英語力を把握して適切なサポートをしてくれます。またペアワークでは学部や語学レベル・考え方の違う学生と接することがよい刺激となり、お互いを高めることにつながったという受講生がたくさんいます。
- Q. 講座が始まる前に何かしておくことはありますか？
A. 申込完了時にシラバスをお送りしますので、テキストや参考図書に目を通しておくこと、時間があれば英語の速読の練習など、英文に慣れておくことをお勧めします。Youtubeなどで英語の動画を見るのもよいでしょう。
- Q. 講座では課題・宿題がどれくらいありますか？
A. 受講する講座・コースによって異なりますが、多くの受講生が予習・復習を含めて、1~2時間程度、勉強に時間を費やしています。
- Q. 研究発表や就職活動で出席できない回がありますが、何かフォローはありますか？
A. 授業内容や課題はお知らせしますので、次の授業までに自習をしていただくことになります。質問などは講師の先生も応えてくれます。授業を欠席される場合は、必ず事前に言語習得センターまでお知らせください。



テストについて知る IELTS テスト

IELTSテストは、世界140カ国、年間350万人以上が受験する世界基準の英語運用能力評価試験です。英語圏の大学への留学、特にイギリス・カナダ・オセアニア圏では受験が必須となっています。IELTSテストには大きく分けて、アカデミック・モジュールと、ジェネラル・モジュールの2つの種類があります。試験の構成はほぼ同じですが、目的・提出先が定める要件に応じていずれかを選択して受験することになります。

*留学の際は一般的にアカデミック・モジュールを受験します(申請時に提出先にスコア要件を確認してください)。

- **アカデミック・モジュール** (大学や大学院への留学や就職を希望している受験者向けのテスト)
- **ジェネラル・トレーニング・モジュール** (イギリス・オーストラリア・ニュージーランド・カナダへの移住を希望している人向けのテスト)

※ IELTSテストとは別に英国ビザ申請用に IELTS for UKVIと、IELTS Life Skills(A1・B1) も実施されています。

■ IELTSテストの試験概要・構成 (アカデミック・モジュールの場合)

Section	テスト内容・求められる力		試験時間
Listening	話の要点・特定の情報を聞き取る力、話者の意図や姿勢、目的を理解する力など、幅広いリスニング力が問われる。 〔全40問〕	Part1: 日常会話での二人の会話	30分
		Part2: 日常会話でのモノローグ	
		Part3: 教育現場での複数人での会話	
		Part4: 学術的なテーマに関するモノローグ	
Academic Writing	課題に対してデータの分析・比較を行い、正しく論理的に説明する力、質問に対する意見が適切か、一貫性があるか、また語彙や文法が正確に使われているかが問われる。	Task1: グラフや表、図形を分析し、自分の言葉で説明したり、物事の過程や手順について説明する。	60分
		Task2: ある問題について、根拠や例を挙げて比較しながら、筋道を立てて自分の意見をエッセイとして書く。	
Academic Reading	文章の要点や詳細を把握する力、言外の意味を読み取る力、筆者の意図や姿勢、目的を理解する力、議論の展開についていく力など、幅広いリーディング力が問われる。〔全40問〕	3つの長文。書籍・専門誌・雑誌・新聞から学術的トピックについて出題。様々なタイプの問題(選択問題、正誤問題、組み合わせ問題、図表の穴埋め問題、記述式問題)が出題される。	60分
Speaking	面接官と1対1の対面で実施。質問に答えながら、日常の話題などへの意見を述べる力、話の一貫性・説得力、物事を分析・議論・推測する力などが問われる。	Part1: 自己紹介と日常生活に関する質問	11～14分
		Part2: スピーチ	
		Part3: ディスカッション	
合 計			約3時間

※ テストの受験方法として、**ペーパー形式**と**コンピュータ形式**の受験形式があります。いずれの形式も試験内容・採点方法は同じですが、形式により異なる特徴がありますので、自分にあった形式を選択してください(運営団体のホームページで詳細を確認してください)。

※ コンピュータ形式の場合、Listening・Writing・Readingをコンピュータで受験した後、Speakingはペーパー形式と同様に面接官と1対1の対面方式で実施されます。なお、Speakingテストまでの間、休憩時間はありません。

※ 受験者数によってSpeakingテストの開始まで時間がかかることがあります。Speakingテストの試験時間の予約制度もありますので、各運営団体の受験申込ページを確認してください。

■ IELTSテストのスコアについて

バンドスコア		英語能力の説明
9.0	エキスパートユーザー	英語を自由自在に使いこなす能力を有する。適切、正確、流暢、完全な理解力もある。
8.0	非常に優秀なユーザー	不正確さや不適切さが見られるが、英語を自由自在に使いこなす能力を有する。慣れない状況下では誤解が生じる場合があるが、込み入った議論にも対応できる。
7.0	優秀なユーザー	不正確さや不適切さが見られ、また状況により誤解が生じる場合があるが、英語を使いこなす能力を有する。複雑な言葉使いにも対応でき、詳細な論理を理解できる。
6.0	有能なユーザー	不正確さ、不適切さ、誤解も見られるが、おおむね効果的に英語を使いこなす能力を有する。慣れた環境下ではかなり複雑な言葉使いの使用と理解ができる。
5.0	中程度のユーザー	不完全だが英語を使う能力を有し、ほとんどの状況で大きな意味を把握できる。間違いをおかすこともある。自分の専門分野では基本的なコミュニケーションが可能。
4.0	限定的ユーザー	慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。理解力、表現力の問題が頻繁に見られる。複雑な言葉使いはできない。
3.0	非常に限定的なユーザー	非常に慣れた状況において、一般的な意味のみを伝え、理解することができ、コミュニケーションの断絶が頻発する。
2.0	一時的なユーザー	慣れた状況下で、その場の必要性に応じて極めて基本的な情報を片言で伝える以外、現実的なコミュニケーションをとることは不可能。英語の会話や文章の理解は困難。
1.0	非ユーザー	単語の羅列のみで、基本的に英語を使用する能力を有していない。

テスト結果は、各セクションごとの 1.0~9.0 までのバンドスコアと、総合評価としてオーバーオールバンドスコアで表示されます。バンドスコアで示される英語スキルは左の表を参照してください。

※実施団体により、コンピュータ形式での特定の受験において1技能のみを再受験できる“**One Skill Retake**”制度があります。(詳細は実施団体のホームページで確認してください)。

テストの詳細・申込方法などは試験運営団体のホームページをご覧ください。

一般財団法人 JSAF
<https://jsaf-ieltsjapan.com/>

公益財団法人 日本英語検定協会
<https://www.eiken.or.jp/ielts/>

IDP Education Japan 合同会社
<https://ieltsjp.com/japan>

ブリティッシュ・カウンシル
<https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts>